

令和3年度(2021年度)

管理事業名	まちづくり計画事業			総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 1 土地利用誘導と良好な景観形成
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 1 都市計画総務費
部局名	都市計画部	予算執行所屬	都市計画室・計画調整室		
予算大事業名 一般事務事業 まちづくり計画事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)都市計画費(目)都市計画施設整備費積立金 まちづくり計画事業				
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】都市計画法、景観法・吹田市景観まちづくり条例、屋外広告物法・吹田市屋外広告物条例、千里ニュータウン再生指針等に基づき、市民、事業者、専門家等及び行政の相互の協働により地域特性を生かしたまちづくりを推進します。 【概要】審議会の運営、法令等に基づく助言や指導、地域課題解決のための計画策定等の協働のまちづくり、また、都市計画施設整備のための基金の管理等必要な事業を行います。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
アドバイザー派遣回数 (まちづくり・景観アドバイザー)	回	9	0	0	都市計画まちづくりアドバイザー及び景観アドバイザーの合計派遣回数
都市計画審議会に諮問した地区整備計画・景観重点地区の地区数	地区	5・2	4・5	4・4	地区整備計画の策定地区数・景観重点地区の指定地区数
景観の事前協議等受付件数	件	261	292	340	吹田市景観まちづくり条例に基づく事前協議等受付件数
屋外広告物許可申請書の受付件数	件	—	374	444	吹田市屋外広告物条例に基づく許可申請書の受付件数
千里ニュータウンのまちづくり指針チェックリスト指導件数	件	8	7	3	これまで育まれてきた千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある良好な住環境の発展継承
成果説明	大規模開発に伴う開発事業者との協議等を通じて、地区(整備)計画や景観重点地区の指定についても協議を行い、都市計画審議会への諮問を経て指定しました。また、吹田市景観まちづくり条例に基づく事前協議の手続きにおいて、必要に応じて専門的立場の「景観アドバイザー」による会議での助言を踏まえ開発事業者に対する指導・誘導を行いました。表彰制度として、景観まちづくりに係る市民等の意識の高揚を図るため第4回吹田市景観まちづくり賞の表彰を実施し、また、これらの取組みの上位計画である吹田市景観まちづくり計画を改定しました。屋外広告物については許可申請等の手続きの中で、吹田市屋外広告物条例に基づく規制・誘導を行い、地域特性を生かしたまちづくりを推進しました。千里ニュータウン地域における開発事業等については、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に基づき周辺環境と調和した土地利用へと誘導を図りました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	31	3,628	5,039	1,412
国庫支出金(経常費用充当)	7,600	-	10,445	10,445
府支出金(経常費用充当)	550	826	655	△171
財産収入	31	23	15	△8
寄附金	1,050	1,000	1,000	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	744	744
その他	74	271,738	2,304	△269,435
経常収入 小計(a)	9,335	277,215	20,202	△257,013
給与関係費	261,102	274,433	297,315	22,882
物件費	55,207	23,492	66,371	42,879
維持補修費	112	1,121	803	△318
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,810	1,907	1,749	△158
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	171	5,125	5,176	51
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	23,122	23,993	22,659	△1,334
退職手当引当金繰入額	44,158	19,064	31,046	11,982
支払利息	-	-	7,706	7,706
その他	-	4,644	-	△4,644
経常費用 小計(b)	385,682	353,778	432,825	79,047
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△376,347	△76,563	△412,622	△336,060
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	1,224,621	-	△1,224,621
特別収入 小計(d)	-	1,224,621	-	△1,224,621
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別費用 特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	1,224,621	-	△1,224,621
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△376,347	1,148,059	△412,622	△1,560,681
一般財源充当額	2,049,600	1,489,145	1,541,819	52,674
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	1,673,253	2,637,203	1,129,196	△1,508,007

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金(経常費用充当)	集約都市形成支援事業費補助金 (+2,145千円) 社会資本整備総合交付金 (+8,300千円)
給与関係費	職員人件費297,315千円(+22,882千円)
物件費	66,371千円(+42,879千円)の主な増は委託料 都市計画推進事業 +7,075千円 景観まちづくり推進事業 +5,390千円 千里ニュータウンまちづくり事業 +26,850千円 都市機能検討事業 +1,595千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	9,335	253,995	20,202	△233,793
行政サービス活動支出	357,714	345,374	417,287	71,912
行政サービス活動収支差額	△348,379	△91,379	△397,084	△305,705
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	1,701,050	1,397,285	1,007,085	△390,199
投資活動収支差額	△1,701,050	△1,397,285	△1,007,085	390,199
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	171	481	137,649	137,168
財務活動収支差額	△171	△481	△137,649	△137,168
収支差額 合計	△2,049,600	△1,489,145	△1,541,819	△52,674
一般財源充当額	2,049,600	1,489,145	1,541,819	52,674
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出) 都市計画施設整備基金への積立て1,005,380千円 (財務活動支出) 大阪外環状線鉄道建設事業 地方債の償還金 137,117千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	1,031 円	市民1人あたり、1,143円のコストがかかっています。 令和4年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています。
	令和2年度	376,944 人	939 円	
	令和3年度	378,781 人	1,143 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	24,525	154,150	129,625
未収金	-	-	-	地方債	-	130,959	130,959
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	23,993	22,659	△1,334
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	532	532	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	1,372,210	1,371,678	△532	固定負債	219,217	744,059	524,842
土地	1,368,796	1,368,796	-	地方債	-	513,019	513,019
建物・工作物	0	0	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	3,413	2,881	△532	退職手当引当金	216,336	228,691	12,355
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	2,881	2,349	△532
無形固定資産	13,932	10,993	△2,939	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	243,742	898,209	654,467
土地	-	-	-	純資産	7,868,141	10,123,203	2,255,061
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	0	0	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	6,725,742	9,638,741	2,912,999				
出資金	77,000	597,200	520,200				
長期貸付金	-	1,487,419	1,487,419				
基金	6,648,742	7,554,122	905,380				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	7,868,141	10,123,203	2,255,061
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	8,111,883	11,021,411	2,909,528
資産の部合計	8,111,883	11,021,411	2,909,528				

Ⅲ 財務構造分析

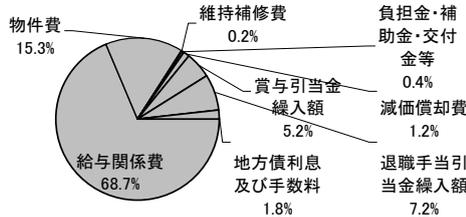
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	39.43 人	515 日	68 日	351,019
給与関係費等	343,970 千円	6,577 千円	472 千円	
内、時間外勤務手当	9,674 千円			

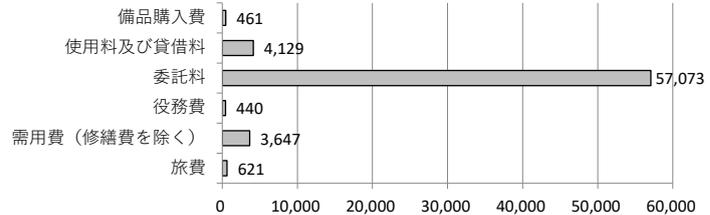
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
長期貸付金	大阪外環状鉄道株式会社への貸付を行っています。
基金	100,000千円を繰入れ、決算調整時点の剰余金見込額等1,005,380千円を積立てました。(＋905,380千円)
地方債	都市高速鉄道事業債。大阪外環状線鉄道建設事業は、地方債による資金調達を行っています。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		0.0	1.0	1.2	0.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.5	85.4	98.7	13.3

▽都市計画施設整備基金残高の推移

(単位:千円)

令和元年度末	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差(B-A)
5,361,457	6,648,742	7,554,122	905,380

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が297,315千円で68.7%占めています。物件費は66,371千円で15.3%を占めており、そのうち委託料が57,073千円と大半を占めています。主な委託内容は、都市計画推進事業の用途地域等一斉見直し検討業務4,267千円、立地適正化計画評価・見直し検討業務4,290千円、景観まちづくり推進事業の景観まちづくり計画改定業務5,390千円、千里ニュータウンまちづくり事業の北千里駅前地区再開発事業に係る環境影響評価業務10,098千円、北千里駅前地区街区整備計画策定業務14,979千円、竹見台・桃山台近隣センター地区推進計画策定業務10,276千円、千里ニュータウンのまちづくり指針改正業務3,850千円、地域特性を生かしたまちづくりに向け企画、立案に活用しました。このほか、佐井寺西土地区画整理事業など、今後の都市計画事業の財源として活用するため、決算調整時点の剰余金見込額等1,005,380千円を都市計画施設整備基金に積立てました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業内容の多くは、職員の力により、地域特性を生かしたまちづくりに向けた企画・立案や市民主体のまちづくり活動への支援・啓発、開発事業者との協議・調整を行うものです。業務内容が多岐にわたっており、市民・事業者・専門家等との協働によるまちづくりを進めるうえで、職員の専門的知識や技術力の向上、将来的な業務の伝承が必要であり、あわせて庁内関係部局間のさらなる連携が必要です。